



SSHレターズ

長崎県立 大村高等学校

最先端の学びを日本の西端から創造する。
学びの“SHINKA”がここから始まる。

◆令和5年度SSH生徒研究発表会（神戸国際展示場で開催）

2巻/5号 2023/9/15

「奨励賞」受賞(全国7~12位相当/全国約220のSSH校中)

実施日：8月9日(水)・8月10日(木)

目的：全国のSSH指定校等の生徒が日頃の課題研究等の探究活動における研究成果をお互いに発表することで、SSH指定校等間の交流を促すとともに、生徒の科学技術に対する興味・関心を一層喚起し、SSHの活動を広く発信することで、各SSH指定校の成果の普及等を図る。

参加者：本校生徒 数理探究科3年 太田翔さん、市丸智規さん

SSH生徒研究発表大会に、本校から数理探究科3年太田翔さん、市丸智規さんの両名による「長崎県産カワヨシノボリの表現型と生殖的隔離の可能性について」の研究発表を行いました。

1日目はSSH指定校各校から1つ、代表が集い、一斉にポスター発表を行います。発表を行うなかで、審査も行われました。2日目は選出された代表6校の口頭発表が行われ、その様子はYouTubeでライブ配信されました。本校は、その代表6校には選出されませんでした。その次点に相当する「奨励賞」を受賞しました。研究内容・プレゼンテーションが高評価をいただき、結果も伴ったことで、生徒はたいへん喜んでいました。

また、この2人は「第25回中国四国九州地区理数科高等学校課題研究発表大会ポスター発表の部」においても、生物部門で優秀賞を受賞しています。おめでとうございます。



◆大村高校SSH交流研修 ネクストジェネレーション・ミーティング

参加者：文理探究科1年生

7月31日(月)から8月2日(水)の3日間、本校1年生文理探究科全員を対象に、首都圏の高校生と地方の高校生が交流することで新たな知見を得ることを主な目的として、世界遺産 軍艦島 をテーマに、大村高校SSH交流研修ネクストジェネレーション・ミーティングを実施しました。東京から東京学芸大学附属国際中等教育学校、筑波大学附属駒場中・高等学校の生徒の皆さん10名と引率の先生2名が長崎に来県され、本校の生徒と交流しました。生徒たちは、研修で学んだことをもとに、「世界遺産軍艦島を今後、保存すべきか・保存すべきでないか」について発表を行いました。正解がない問いについて、各自が根拠をもとに判断する力を養う経験をしました。研修後、事後学習として、更に内容を深めた資料を作成し、8月23日に代表班が東京の2校の生徒とともにオンラインで文化庁職員の方に意見発表を行いました。違う立場や観点からの意見を聴き、生徒たちは互いに良い刺激を受けたようでした。



◆長崎県立大学高大連携理科実験

8月23日(水)、数理探究科2年生は、長崎県立大学の看護栄養学部にて実験を行いました。今年のテーマは、「摂食条件の違いがラット肝臓のグリコーゲン量に及ぼす影響」、「ラットの解剖実験と臓器からのDNAの抽出」、「全員調べてみるの？～BB弾でサンプリング実験～」、「卵のゲル化とテクスチャー」の4つです。各班に分かれて、実験を中心とした講義を受けました。生徒感想の一部を紹介します。「生物で学んだ臓器を実際に見て触ることができて、体のしくみがよく理解できました。」「ラットの精巣からDNAを抽出する実験では、なぜ食塩水とエタノールを使うとDNAが抽出できるのか調べてみたいと思いました。」「分散や偏差などは将来使うことがないと思っていましたが、今回すごく役立つことがわかりました。」「マイタケに含まれる酵素の影響で卵のタンパク質が固まらなくなるなど授業の復習になりました。」

このように、数理探究科では、専門機関での実験・実習を体験し、自然科学への興味関心を高め、進学や将来の目標に結びつく活動を実践しています。

